

「図解でマスター 5 類消防設備士」正誤表 (第 1 版第 2 刷用)

当該箇所	誤	正																				
9 頁 下から 7 行目	単位面積 A [m ²]	単位面積 A [mm ²]																				
39 頁 図 2-23 2 カ所	機械	横棧																				
40 頁 図 2-25 タイトル	個別検定	型式適合検定																				
55 頁 ② 2 行目	…袋を…	…下部指示装置のナスカン(フック)を…																				
78 頁 問 29 (2)	…1/6 未満…	…1/4 未満…																				
118 頁 取付具の固定 1 行目	…p.114 の式(A)で計算した…	…p.115 の式(B)で計算した…																				
118 頁 取付具の固定 9 行目	P :式(A)で計算した値[N]	P :式(B)で計算した値[N]																				
154 頁 3 1 行目	…罰則の…	…防火対象物における危険を排除するための…																				
157 頁 表 4-4 【右記の表に差し替える】	<table><tr><th>特定もしくは 非特定火対象物</th><th>収容人員</th><th>延べ面積 [m²]</th><th>選任すべき防火管理者</th></tr><tr><td>令別表第 1(16)項イ, 第(16)項ロおよび 第(16)の 2 項(特定)</td><td>10 人以上</td><td>—</td><td>甲種防火管理者</td></tr><tr><td rowspan="2">特定</td><td rowspan="2">30 人以上</td><td>300 以上</td><td>甲種防火管理者</td></tr><tr><td>300 未満</td><td>甲または乙種防火管理者</td></tr><tr><td rowspan="2">非特定</td><td rowspan="2">50 人以上</td><td>500 以上</td><td>甲種防火管理者</td></tr><tr><td>500 未満</td><td>甲または乙種防火管理者</td></tr></table>		特定もしくは 非特定火対象物	収容人員	延べ面積 [m ²]	選任すべき防火管理者	令別表第 1(16)項イ, 第(16)項ロおよび 第(16)の 2 項(特定)	10 人以上	—	甲種防火管理者	特定	30 人以上	300 以上	甲種防火管理者	300 未満	甲または乙種防火管理者	非特定	50 人以上	500 以上	甲種防火管理者	500 未満	甲または乙種防火管理者
特定もしくは 非特定火対象物	収容人員	延べ面積 [m ²]	選任すべき防火管理者																			
令別表第 1(16)項イ, 第(16)項ロおよび 第(16)の 2 項(特定)	10 人以上	—	甲種防火管理者																			
特定	30 人以上	300 以上	甲種防火管理者																			
		300 未満	甲または乙種防火管理者																			
非特定	50 人以上	500 以上	甲種防火管理者																			
		500 未満	甲または乙種防火管理者																			
161 頁 下から 3～4 行目	…((16)項)の各用途部分は、別の防火対象物として扱う.	…(令別表第 1(16)項)で(1)項から(15)項までに掲げる防火対象物の用途に供されるものは、その用途に供される部分を合計した面積をもって 1 の防火対象物とみなす.																				
161 頁 下から 1 行目	避難器具	避難設備																				
164 頁 22 タイトル	「(遡及関係)」を削除																					
164 頁 22 下から 1 行目	…同一で遡及する.	…同一とする.																				
182 頁 下から 6 行目	① 既存遡及	① 改正法令の適用																				
192 頁 問 1 選択肢(3)	…遡及して…	…改正した法令が…																				
193 頁 問 3 選択肢(4)	…設置される避難器具は既存遡及されないため、現時点で設置されている避難器具は、一動作に適合させる必要性はない.	…設置する避難器具は、必ず型式適合検定合格品を使用しなければならない.																				
193 頁 問 3 解説 1 行目	…既存遡及し、現行法の適用を受ける.	…法改正があった場合、改正後の法令の適用を受ける.																				
193 頁 問 3 解説の最後に追加	(4) ②に適合するものであり,すべての形式適合検定合格品とはかぎらない.																					
221 頁 例題 5	重量 x [kg]	重量 x [N]																				
221 頁 例題 5 の図について	角 WAW_1 を 30° として計算																					
224 頁 例題 2 表の 7.	ふさわしい設置位置	ふさわしい設置位置として(2 か所)																				
224 頁 例題 1 解答 3	消防法施行令 25 条 1 の 5	消防法施行令 25 条第 1 項第五号																				
225 頁 例題 2 2 行目	飲食店があがっている.	飲食店,保育園があがっている.																				
225 頁 例題 2 問題文【文末へ右記を追加】	また、屋外階段は減免対象となる屋外階段とする.																					

当該箇所	誤		正	
226 頁 参考データの表【右記の表に差替え】		(1) 診療所(6 項・イ)	(2) 飲食店(3 項・ロ)	(3) 保育園(6 項・ハ)
	①床面積(計算式も記入)【避難器具算定用】	m ²	m ²	—
	②収容人数(計算式も記入)	名	名	名
	③設置必要台数(計算式も記入)	台	台	台
	④減免の適用	有り・無し	有り・無し	有り・無し
226 頁 解説の表【右記の表に差替え】		(1) 診療所(6 項・イ)	(2) 飲食店(3 項・ロ)	(3) 保育園(6 項・ハ)
	①床面積(計算式も記入)【避難器具算定用】	141 m ²	141 m ²	—
	②収容人数(計算式も記入)	57 名	92 名	45 名
	③設置必要台数(計算式も記入)	0 台	0 台	0 台
	④減免の適用	有り	有り	有り
226 頁 参考データ (2)	客席数 80 席		客席数 80 席(固定式でその他の部分は算入しないものとする)	
226 頁 参考データ【(3)として右記を追加】	(3) 保育園:教職員 5 名,児童 40 名			
226 頁 解説【1 行目として右記を追加】	消防法でいう床面積(※)は,一般的に建築基準法の床面積と同じ扱いで求められ,エレベータシャフト・パイプシャフト等も床面積に算入される.しかし収容人数を算定する場合は「その用途に供する部分」とあり,次のとおりとなる.			
226 頁 解説①【右記の内容に差替え】	① (1)(2)の床面積 15m×11m－{2m×(4m+4m+2m+2m)} =141 m ² (3)の床面積 (6)項のハでは収容人数を算定する場合,床面積は使用せず,教職員の数+幼児・児童・生徒の数により算定するため計算の必要がない.			
226 頁 解説② (1)最終行【右記の内容に差替え】	10 名+141 m ² ÷3 m ² =10 名+47 名=57 名			
226 頁 解説② (2)最終行	12+80 名+(186 m ² ÷3 m ²)=154 名		12+80 名=92 名	
227 頁 解説②の(3)【右記に差替え】	(3) 保育園の収容人数の算定方法(規則第 1 条の 3) 教職員の数+幼児・児童・生徒の数により算定し 5+40 名=45 名			
227 頁 (2) (3) 2 行目	屋外階段		屋外避難階段	
227 頁 (2) (3)【右記の内容に差替える】	(2) 施行令第 25 条により,(3)項のロは収容人数 50～200 人に対して 1 台,20～400 人に対して 2 台必要となる.ここで,26 条の減免により,屋外避難階段があるので,1 台－1 台=0 となり,必要台数 0 台が回答となる. (3) 施行令第 25 条により,(6)項のハは(1)と同様に 20 人以上で必要となる.また減免についても同様で 0 台となる.			